

ただいま、山火事予防運動を行っています

期間 3月1日から5月31日まで

春先は、空気の乾燥した状況が続き、強い風が吹くことから、山火事・枯草火災が発生しやすい時季です。今年も降雪量が少なく、山にある落ち葉や枯れ草も非常に乾燥していることから、山火事には注意してください。

宮古消防本部管内では昨年3月から5月にかけて、4件の山火事が発生し、302アールの山や木々が焼失しました。また、平成30年には宮古市田老地区で約25ヘクタールが焼失する山火事が発生しました。

森林は、地球温暖化の主な原因である二酸化炭素を吸収し、生命に必要な酸素を供給する貴重な資源であり、一度焼失してしまうと、その回復には長い年月と多くの労力を要することになります。

これからの時季は行楽や山菜採りなど山への出入りが多くなる時季です。また、山裾周辺での農作業が始まることから、田畑のあぜ道を野焼きするなどの行為は注意が必要です。

山火事の大部分は、皆さん一人ひとりの注意で防ぐことができます。貴重な人命や財産を火災から守るため、以下のことに気をつけましょう。

◆強風時及び乾燥時には、たき火、野焼き、火入れをしないこと

◆燃え広がりやすい枯れ草等のある場所では、たき火、野焼きをしないこと

◆たき火や野焼きの場所を離れるときは、完全に消火すること

◆たき火や野焼きは一人で行わず、水など消火の備えをすること

◆たき火、野焼き、火入れをするときは、消防署に届け出ること

◆火入れを行う際は、市町村長の許可を必ず得ること

◆たばこは、指定された場所で喫煙し、吸い殻は必ず消し、投げ捨ては絶対にしないこと

◆火遊びはしないこと

